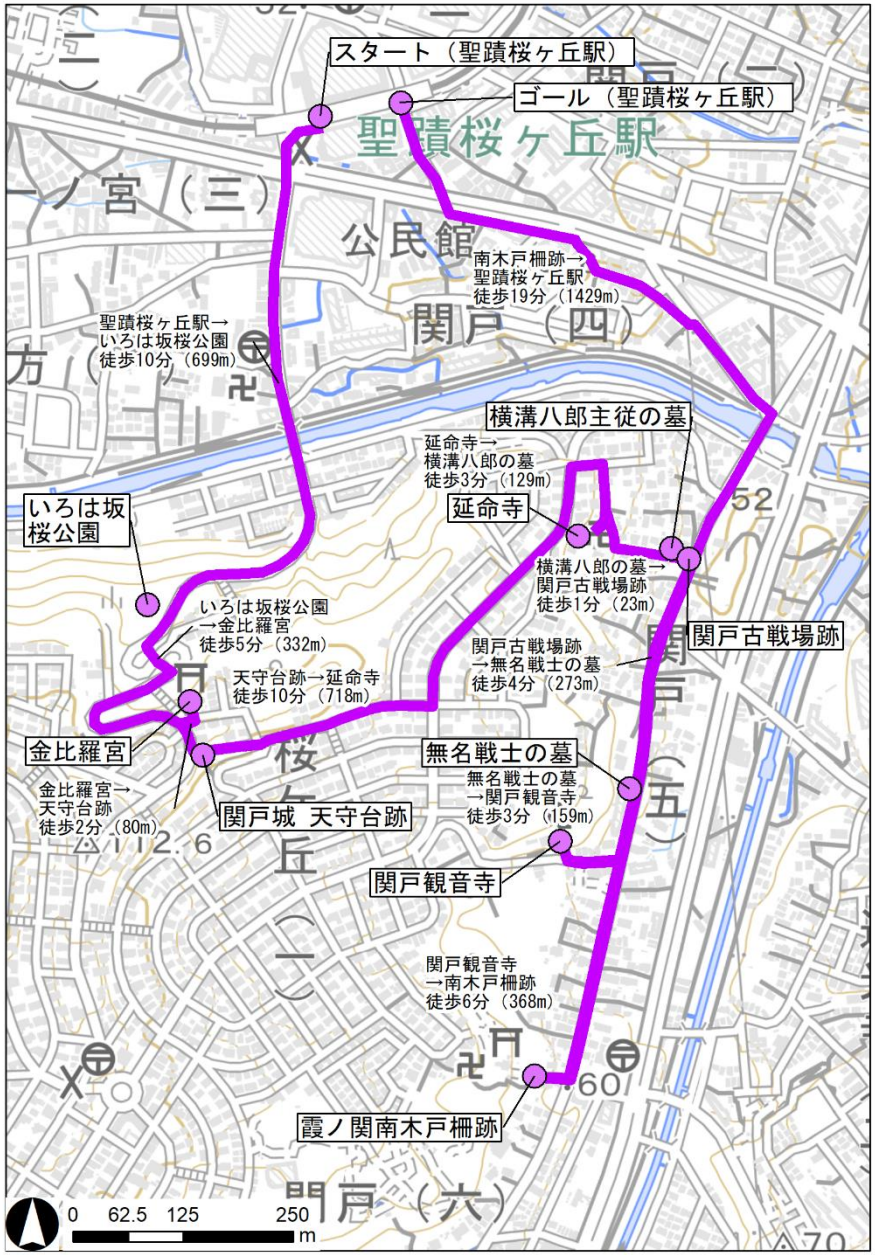
多摩川を歩く-関戸編-



約 4 km / 1.5 時間コース

-ルート-

聖蹟桜ヶ丘駅(Start)

→①いろは坂桜公園（ざかさくらこうえん）

→②関戸熊野神社（せきどくまのじんじゃ） 金比羅宮（こんぴらぐう）

→③関戸城（せきどじょう） 天守台跡（てんしゅだいあと）

→④延命寺（えんめいじ）

→⑤横溝八郎主従の墓（よこみぞはちろうしゅじゅうのはか）

→⑥関戸古戦場跡(地蔵菩薩像)（せきどこせんじょうあと じぞうぼさつぞう）

→⑦無名戦士の墓（むめいせんしのはか）

→⑧関戸観音寺（せきどかんのんじ）

→⑨霞ノ関南木戸柵跡（かすみのせきみなみきどさくあと）

→聖蹟桜ヶ丘駅(Goal)

歴史セミナ-多摩川を歩く-

多摩川沿川の散策を通して、多摩川の現状や流域の歴史文化などについて認識を深めていただくことを目的として、平成 10 年(1989)より実施しています。いろいろな地域にスポットを当て、多摩川周辺の歴史や文化財を学んでいます。これまでに 19 回が開催されました。

多摩川流域懇談会

「市民」「行政」「企業」「学識経験者等」から構成されています。各部会から代表者を選出した「運営委員会」において、《いい川》や《いいまち》の実現に向けて、ゆるやかな合意形成を図ることを目的としています。

【お願い】
1.一般通行者や自転車に注意し、広がらないようにしてください。
2.適度に休憩を取りながら散策しましょう。
3.散策時間は目安です。実際とは異なる場合があります。

① いろは坂桜公園

スタジオジブリのアニメーション映画『耳をすませば』のモデル地といわれています。

参考：パンフレット「青春のポスト」

② 関戸熊野神社 金比羅宮

新田義貞が関戸合戦の際に逗留した「城山」「天守台」と呼ばれた場所にあります。金比羅宮を誕生させたのは、関戸の名主・井上林蔵です。

参考：「関戸合戦」　パルテノン多摩（2007）

③ 関戸城 天守台跡

多摩川に面し、武蔵野台地を一望できる絶勝の地であることから、鎌倉幕府以来の物見台的城塞として敵を察知し、急変を狼煙などで知らせる通信拠点であったとも考えられます。

参考：多摩市教育委員会、「天守台」の碑　碑文

④ 延命寺

もともと無本寺で延命地蔵が祀られていましたが元禄 15 年(1702)に賦国上人が引退後の地としてこの寺を選び延命寺と呼ばれるようになりました。

参考：「関戸合戦」、パルテノン多摩（2007）

⑤ 横溝八郎主従の墓

北条泰家の家来で関戸合戦では泰家を守り奮戦、この間泰家は尾根伝いに鎌倉に敗走したと言われています。弓の名手でしたが、この戦いで関戸の地で討死しました。

参考：「関戸合戦」、パルテノン多摩（2007）

⑥ 地蔵菩薩像

市内で一番古い地蔵で、毎年 10 月 14 日に関戸の第三・四組の助成が集まり念仏を唱えるそうです。
この地蔵菩薩像が立つあたり一帯が、関戸古戦場であったと伝えられています。参考：「関戸合戦」、パルテノン多摩（2007）

⑦ 無名戦士の墓

「お諏訪様」と呼ばれる石碑の脇に並んでおり、関戸合戦の戦死者の墓として伝えられています。

参考：「関戸合戦」、パルテノン多摩（2007）

⑧ 関戸観音寺

相澤五流・伴主（五流の息子）が眠るお寺としても有名です。相澤伴主は関戸の地域伝承を考える上で重要な役割を果たした人物です。

参考：「関戸合戦」、パルテノン多摩（2007）

⑨ 霞ノ関南木戸柵跡

昭和 34 年（1959）の菊池山哉らによる『東京都多摩丘陵文化財総合調査』で、熊野神社境内の土居から、柱穴が見つかりました。

参考：「関戸合戦」、パルテノン多摩（2007）